

MSC スプレンドィダの横浜発着クルーズ(3)

事務局長 池田良穂

横浜を出た MSC スプレンドィダは、北に針路をとり、2 日目は太平洋を約 14 ノットで航海しました。クルーズ 2 日目は終日航海日で、サンデッキのプールは人で一杯です。

嬉しいのは、時間がたつにつれて、どんどん涼しくなっていくことです。日差しはきつくても、湿気が次第になくなり、気温も下がって、むっとした横浜での灼熱地獄はどんどん解消されていきます。気温も湿度も半端でない真夏の日本では、北への避暑クルーズが定着するかもしれません。

べた風の太平洋の航海はほんとうに快適でした。昼頃に、遠くに南下する「ダイヤモンド・プリンセス」の姿が見えました。

この日の夜はフォーマルナイト。各ラウンジでは、シャンペン等の飲み物のサービスがあり、船長との写真撮影会も開催されていました。

18 時半からショーの初めに、船長をはじめとする士官の紹介があり、船長の挨拶もありましたが、乗客数などの詳しい説明はありませんでした。(これは、後に 2904 人、外国人が約 300 名と判明しました)

翌朝、左舷側に羊蹄山、有珠山、昭和新山の 3 つの火山が見え、函館方向には駒ヶ岳が見えました。いずれも火山で、航行している海域が噴火湾と呼ばれる所以です。室蘭港外には 5 隻ほどの貨物船が停泊していました。船は右に方向展開して室蘭港の関門を、タグボート「青葉」の先導で通過して、すぐ左に回頭して、崎守のコンテナふ頭に着岸しました。大型すぎて港口にかかる白鳥大橋の下は通れないので、その外側に造られた新しい港湾地区への着岸となりました。ここは近くに高速道路の入口があるので、洞爺湖、登別等にも車で行くには便利です。船上で販売していたオプションツアーには札幌へのツアーもありました。

温泉好きのわたしたちは、タクシーで登別温泉に行き、温泉施設の充実した第一滝本の日帰り入浴を楽しみ、山の上のクマ牧場を覗いてから、室蘭に戻り地球岬などの観光地を廻ってから帰船しました。

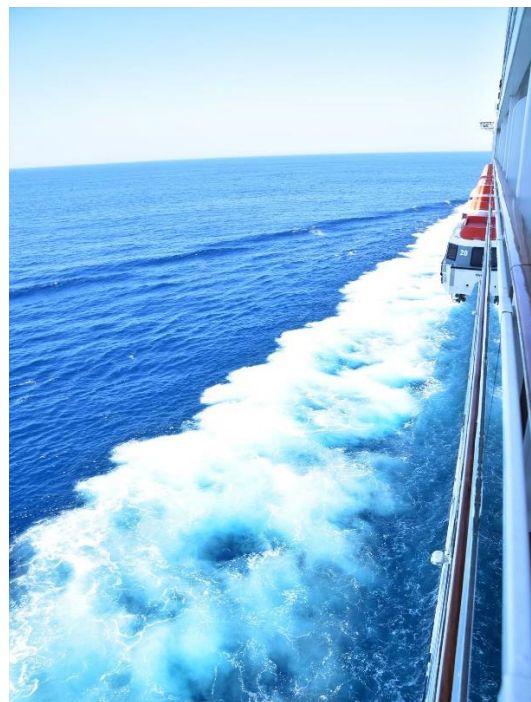
夕食は特別レストランの 1 つであるホットポッド料理(中華風なべ料理)で、何度かクルーズを一緒にしている方々(ポチの会)と楽しい会食を楽しみました。



サンデッキのプール。他に室内プールとスライダーがあります。



南下する「ダイヤモンド・プリンセス」の姿が遠くに見えました。



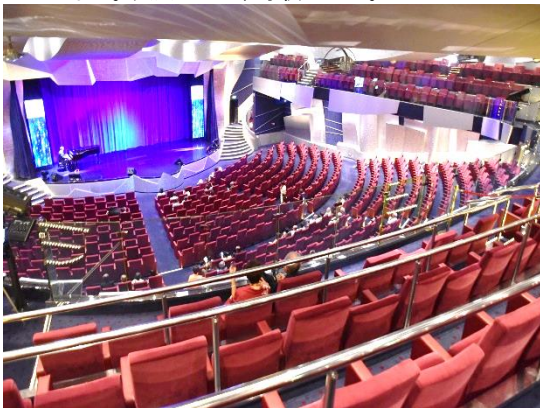
真夏の太平洋を北上していくと、次第に気温も湿気も少なくなっていました。



16階にバーチャルワールドの「4Dシネマ」の前に飾られていたF1カーのシミュレータ。



4Dシネマ。大人9ドル、子供7ドル。



船首にあるシアター。メインショーが毎晩行われました。



士官の紹介と船長挨拶の様子です。



ウェルカムパーティの後のショーはフレンチナイトでした。ヨーロッパの船らしく観劇中は飲食禁止です。



フォーマルナイトらしい船内です。ロビーでピアノ演奏を楽しむ人たち。



室蘭港入港前に、羊蹄山、有珠山、昭和新山の3つの火山が見えました。



函館の方向には火山駒ヶ岳が見えました。室蘭と函館で囲まれる湾は噴火湾と名付けられています。



先導した室蘭港のタグボート「青葉」が先導しました。



停泊した崎守のコンテナ埠頭です。観光バスが並んで待っていました。



登別温泉、室蘭市内観光をした後、船に戻るために白鳥大橋を通過した時に、車の窓から撮影した「MSC スプレディダ」の姿です。



16階のホットポッド料理を提供する特別レストランです。



ホットポッドの鍋。まだ出汁だけの状態で、ここから魚、肉、野菜などを入れて炊きます。



クルーズ愛好者の方々と楽しい夕食を楽しみました。これまで「セレブリティ・ミレニアム」、「ダイヤモンド・プリンセス」、「コスタ・ネオロマンティカ」等でご一緒しています。このうち寺井さんと松本さんは本会の学会員です。